対象案件	宿泊税条例の制定に向けた考え方について
意見募集期間	令和6年10月1日(火)から令和6年10月31日(木)まで
担当部署 (問合せ先)	財務部　税務課 電話　011-372-3311　内線3711
意見提出件数	意見提出者数　3人 意見提出件数　3件 条例案に賛成するもの　2件 条例案に反対するもの　0件 条例案の修正を要望するもの　0件 条例案に付随した要望　1件 その他(パブリックコメントの対象以外の意見等)　0件

提出のあった意見	市の考え方 (案を修正したときは修正内容)
宿泊税はあって良いと思います。 北広島だと、エスコンフィールドの観光が多いと思います。 エスコンを取り巻く環境の整備には経費がかかります。 そのために税を使用すると、使途を明らかにすれば来る方も納得してくれるでしょう。 観光する方が気持ち良く過ごすための経費と考えたら良いです。 全国でも宿泊税を徴収する自治体が増えています。 金額を札幌より少なくすれば、観光客にはかえってお値打ち感があり、納得して頂けると思います。	具体的な取組内容につきまして、今後検討することとなりますが、目に見える使途であること、使途が広く伝わることで宿泊される方、市民等に宿泊税の導入を実感していただけると考えております。 税率につきまして、北海道をはじめとする、宿泊税を導入する自治体を参考としています。
宿泊税自体には大いに賛成です。 日本ハムファイターズの活躍もあって、現時点で道内外から観光客が多く来ているものの、「市内在住者への還元」という側面では今一つという印象が強かったため、財源確保に繋がるのであれば好ましいです。 ただ、市内在住者にもう少し目に見えるリターンが欲しいと思っております。 具体例を挙げると、宿泊税とは別に二重価格の導入や市民向けクーポンなどの還元策を検討していただきたいです。 市外からの利用客は能動的に北広島へ足を運び観光を楽しんでいかれる(お金を落としていく)が、一方で市内在住者は所謂「観光地価格」のため、宿泊や施設利用・飲食に消極的な方々も多いように見受けられます。 建設中・建設予定のホテルもプレスリリースを読む限り決して手頃とは思い難いです。 北広島が市民のものでは無くなっていくようなイメージ…疎外感とでもいうのでしょうか、極端に言うとニセコや富良野のようにならない施策を期待します。	具体的な取組内容につきまして、今後、「受入環境の整備」、「新たな魅力の提供」、「持続可能な観光の推進」を軸に検討していくこととなりますが、宿泊税を導入することで、来訪者に対してはもちろん、市民に対しても効果が広がるものと考えております。 いただいた市内在住者への還元についてのご意見は、今後の事業検討にあたっての参考にさせていただきます。

提出のあった意見	市の考え方 （案を修正したときは修正内容）
10月3日付けの読売新聞の朝刊に上野市長の「北広島市宿泊税」の導入の件で、2026年4月にも導入、との見解が発表されていた。 「宿泊税」は将来に揺るぎのない安定した制度を築くためにも慎重かつ計画的なプロセスが必須である。 「宿泊税」は、宿泊当事者が「本当に宿泊して良かった」、「北広島市に何度でも来たい」等の満足度や高い良い評価を得て初めて「税」の真価と言えるのではないだろうか。 そのためには今後の2025年度から1年、もしくは2年程の期間を設けてじっくりとその税の中身を吟味する必要があると思います。 その方法の一つに、宿泊者の善意を基本にして宿泊者よりアンケートなり情報なり評価なりを委ねて1年、2年後にその情報を総合的なデータを分析して最もふさわしく適格なる「宿泊税」を決めても決して遅くはないと思う。 「宿泊税」等は地方自治体が一方的に決めているように思えます。 北広島市の新しい制度の「宿泊税」を未来の確固たる財産にするためにも急ぐことなく宿泊者の善意の協力を得て数年後に目標を置くべきかと思います。 「宿泊税」はあくまでも宿泊者自身の感度で決められる方法がベターだと強く感じています。 そして、北広島市は家庭的、ファミリー的な来訪が望ましいので、今の市の空き家、空室、空施設を民宿、民活、そして長めの休みを家族単位で楽しめる場所に活用していくのも検討の一つではないかと思います。	北広島市の宿泊税導入に係る検討につきまして、令和5年度から委員会や学識経験者や宿泊事業者などで構成される懇話会にて意見を伺ってまいりました。 具体的な取組内容につきまして、今後、宿泊事業者等と意見交換を行い、宿泊者に効果を実感していただける取組を検討してまいります。 いただいた活用についてのご意見は、今後の事業検討にあたっての参考にさせていただきます。